

2018年10月23日

大阪産業大学附属中学校

2017年度 学校関係者評価

大阪産業大学附属中学校
学校関係者評価委員会

10月23日に学校関係者評価委員会（8名中5名の委員が出席）を開き、会議冒頭にホームページに掲載している文化発表会の動画を視聴し、その後、学校が公表する学校評価に基づいて大阪産業大学附属中学校の教育について議論しました。その概要を報告します。

1. 2017年度 学校評価について

学校からの授業アンケート結果の分析報告、学校評価についての報告に基づいて、議論がおこなわれました。委員からはアンケートの質問項目が細部、多岐にわたっており、学校だけでなく、家庭での様子までも把握できる内容になっていると評価する声が多数ありました。また、大阪産業大学附属中学校の生徒が大阪産業大学附属高校に進学する際、その生徒たちが高校生活を安心して送ることができるように、中学3年の担任を少なくとも一人は、高校1学年の担任に配属するようになっているとの学校からの報告に評価する声がありました。

2. 学校教育への提言

A. 保護者代表から

社会は豊かになったが、その豊かさによる膨大な情報、あふれるモノに生徒たちは当惑してしまい、今後進むべき道を見出せておらず、教員が生徒たちに具体的な目標を立ててあげ、道筋を示してあげることこの学校の学校に必要なのではないかと、もう少し深く生徒の指導に踏み込んでも構わないのではないかと意見がありました。

B. 同窓生代表から

授業アンケートの質問項目、その結果を見て、生徒の学校生活の様子、家庭での様子が非常によく分かるという意見がありました。

C. 大阪産業大学の教員から

会議冒頭の動画を見て、生徒たちが澁刺としており、学校行事に対して前向きに取り組むをおこなっている様子がかがえるとの感想がありました。また「学校生活についてのアンケート」中の自宅での学習についての質問項目を見て、学校や教員がつきっきりで指導しなくても自立して学習・生活できる生徒を育成してもらいたいとの意見がありました。